

週間市場レポート

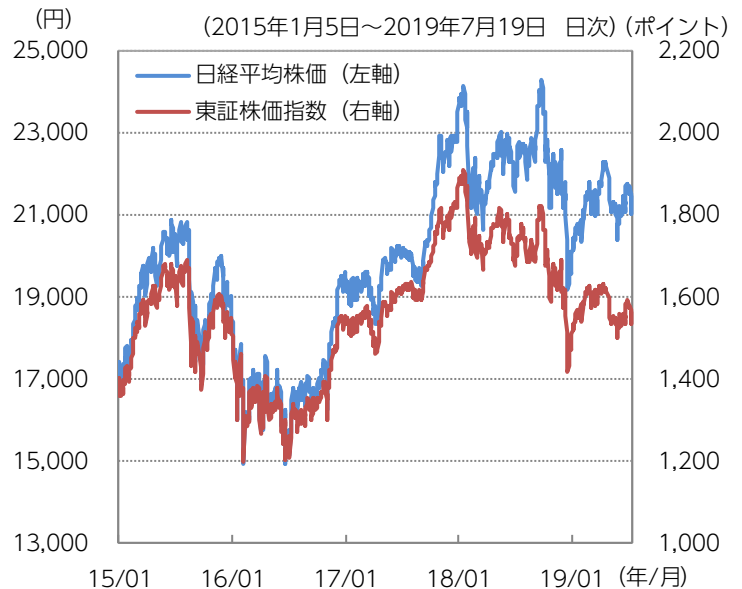
(2019年7月15日～7月19日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■ 日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。米国の早期利下げ観測による為替市場の円高米ドル安の進行や米中貿易摩擦の長期化懸念等により週初から3日続落となりました。週末は、前日に大きく下げたことによる自律反発狙いの買いが優勢となったことや、米株高を背景に前日比で上昇となるも、週間では下落となりました。（週末引け値：21,466.99円）。

■ 週間では、日経平均株価は1.01%の下落、東証株価指数は0.78%の下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

■ 日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。日経平均株価の下落や米長期金利の低下を受け、国内債券は買いが優勢となりました（週末引け値：-0.132%）。

■ 週間では、0.018%の低下となりました。

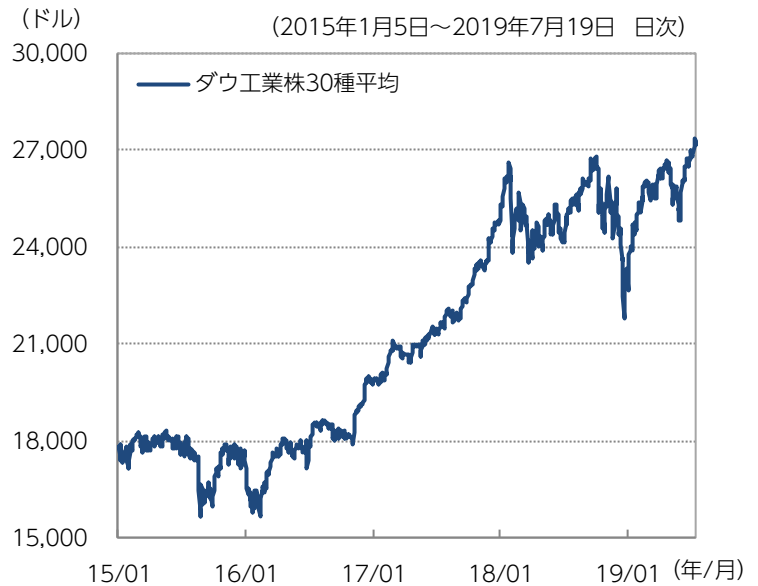


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。米企業決算の結果がまちまちななか、トランプ米大統領が中国製品への追加関税の可能性を示唆したことによる米中貿易摩擦の長期化懸念と、ニューヨーク連銀総裁が講演において早期利下げの必要性を示したことなどを受け、一進一退の展開となりました（週末引け値：27,154.20ドル）。
- 週間ではNYダウは0.65%の下落となりました。

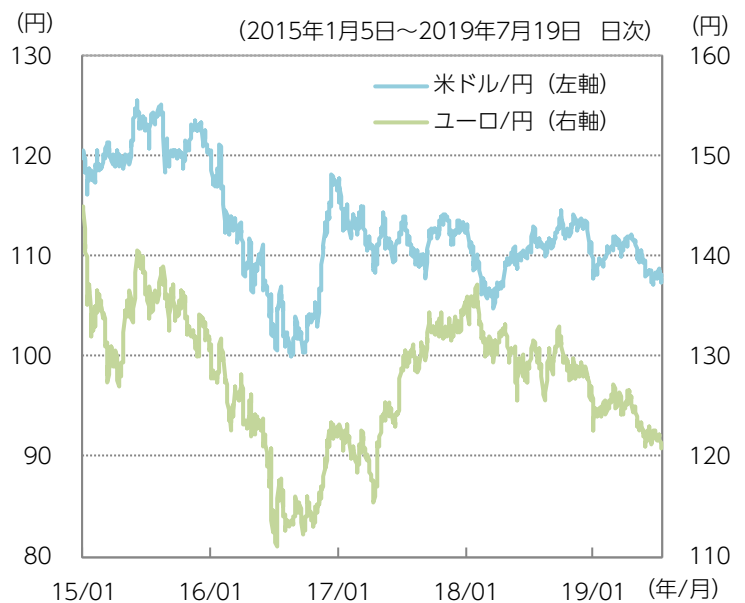


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。米国の早期利下げ観測が根強く、日米金利差の縮小を見込んだ円買い米ドル売りが優勢となりました。（週末引け値：107円70銭～80銭）。
- 週間では米ドル/円は0.19%の円高、ユーロ/円は0.62%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>